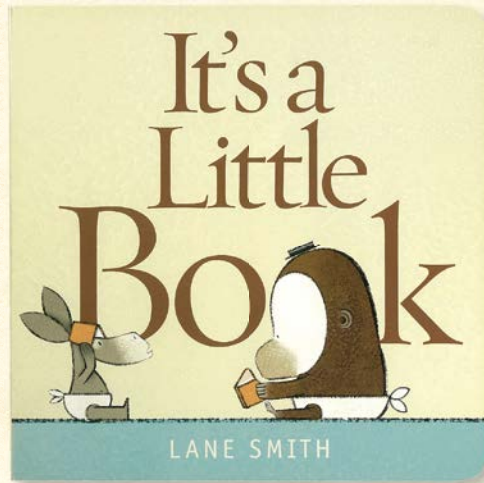


子どものための B O O K G U I D E

— 1 —



It's a Little Book

著者：Lane Smith

出版社：Macmillan Children's Books

ぼ

くは英語教育の専門家ではないので、このコーナーでは翻訳家の目からみた、楽しい絵本や素敵な絵本を紹介していこうと思います。

まず、1冊目はレイン・スミスの絵本を。

レイン・スミスは世界中で大人気の絵本作家で、日本でも多くの作品が訳されています。『おおきなペットたち』『めがねなんか、かけないよ』など、どれも園児から、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんまで絶対好きになる絵本です。

さて、この *It's a Little Book*、まず表紙が素晴らしい。本をかぶっているロバくんと、本を読んでいる……サルくん？ ゴリラくん？ とりあえず、サルくんにしておきましょう。

最初、ロバくんが本を指して、“What is that?” “Is it for chewing?” と、たずねます。するとサルくんがひと言、“No.”

このあと、ロバくんが “for wearing?” “for flying?”

“for riding?” “for building?” “for calling?” などときくのですが、サルくんの返事は “No.”

例えば、wear, chew, ride, buildなんて単語の意味は知らなくても、絵でわかります。絵をみながら、意味を当てっこするのも楽しそうです。たまに、quackなんてちょっと難しいのも出てくるし。

あと、知っている簡単な動詞を使って、勝手に話を作っちゃうというの也有りですね。

“Is it for swimming?” “No.”

“Is it for running?” “No.”

“Is it for thinking?” “Yes.”

とか、遊べそうです。こういう遊び方は、子どもの方がいいアイデアを出してくれそうですね。

え、この絵本、最後はどうなるんだって？ ぜひ、読んでみてください。とても、かわいいです。

それにしても、最後の “silly”，なんて訳しましょうか。翻訳って、難しいですね。

※この本の出版社 Macmillan Children's Books が YouTube に動画をアップしています。

ロバくんとサルくんのかわいらしい掛け合いがご覧いただけますので、書名で検索してみてください。

金原瑞人

かねはら みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。

訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど400点以上。日本にヤングアダルト (YA) というジャンルを紹介。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書) の編集委員を務める。